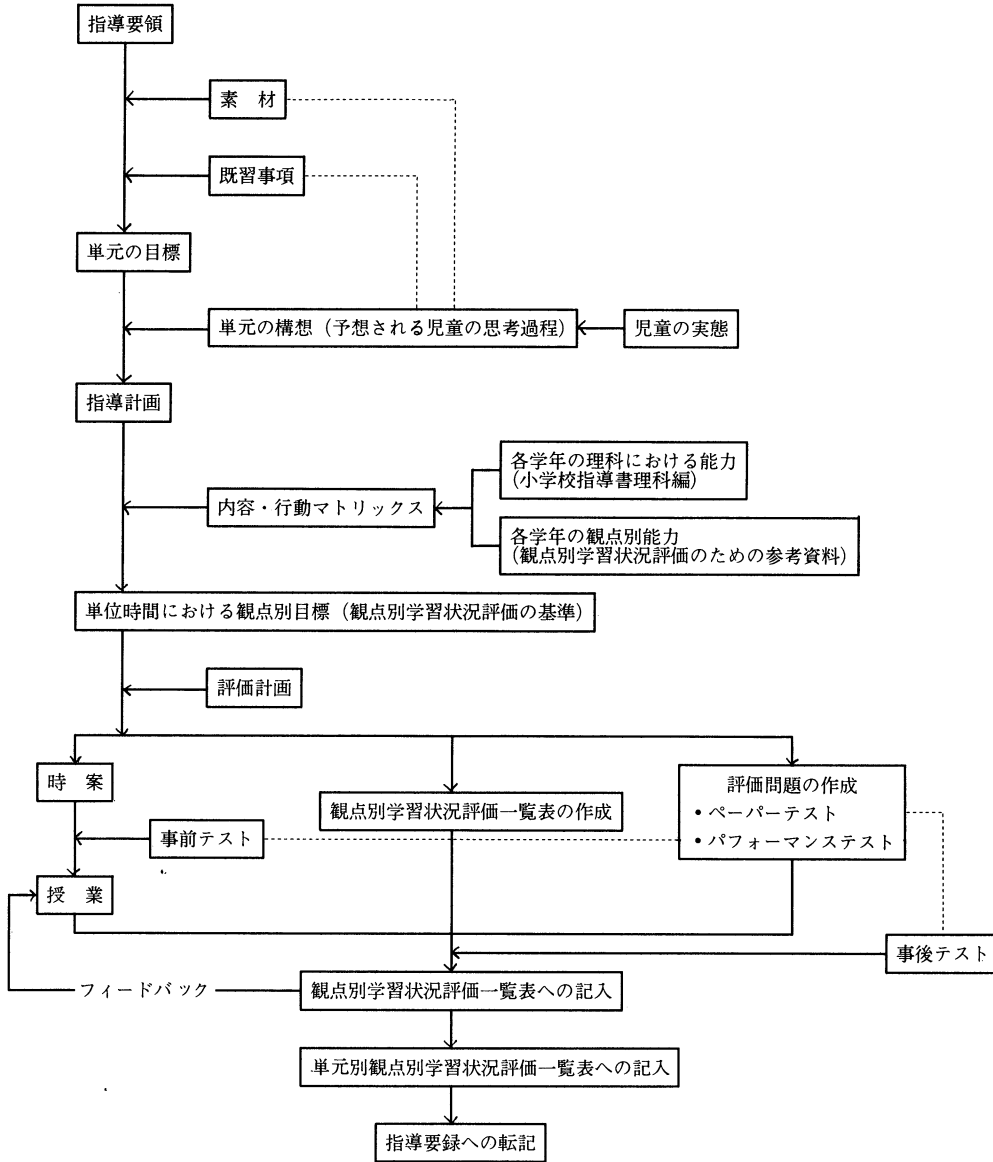


資料1 「観点別学習状況」評価の手順



観点別目標の評価方法の中心を、次のように決めた。
 ○ 知識・理解……ペーパーテスト
 ○ 観察、実験の技能……観察、ノート
 ○ 観察、実験の技能……観察、ノート
 ○ 科学的思考……発表、ノートのエッセンス
 ○ 自然に対する関心、態度……言動

の観察、自己評価、相互評価
 ⑥ 時案 (省略)
 ⑦ 「観点別学習状況」評価一覧表
 各観点別目標の評価結果の累積、及びフィードバックのために、評価一覧表を作成した。

五、成果と今後の課題

- (一) 成果
- ① 評価結果の累積により、ある程度自信を持って、「観点別学習状況」の欄が記入できるようになった。
 - ② ペーパーテストによる事後テストの結果の度数分布のピークが百パーセント、もしくは、それに近い所にくるようになった。
 - ③ 評価の累積により、次の単元における児童の問題となる思考傾向が予想でき、それに対する対策が考えられるようになった。
 - ④ 当初に比べ、児童の活動が主体的になったように思われる。
- (二) 今後の課題
- ① 各観点の能力について、検討を重ねたい。
 - ② 自己評価、相互評価の活用を一層図りたい。
 - ③ ペーパーテストの問題を、より一層ねらいに沿ったものにするともに、その可能性を探っていきたい。
 - ④ 対象が十五名の学級における実践であったが、四十名を越える学級において可能性を探っていきたい。